

TARC ロールコール実施要領

横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部

2020年6月

- I. オンエアミーティングを目的別に分け、ロールコールを新設する。
1. ロールコールは全クラブ員が「各自の運用リグの動作確認を行う」こと、および「非常時の通信の訓練を行う」ことを目的とし、**全メンバーの参加を奨励**する。
 2. ロールコールでは非常通信時に使う「キー局によるチャンネルコントロール方式」(下記 III 参照)で行う。また、全メンバー対象のクラブ運営に関する情報伝達を行うことを可とする。
(役員間連絡など個別の事案は適時、yakuin-tarcml メールや個別の無線・有線連絡にて行う。)
 3. 従来のオンエアミーティングの時間(毎土曜日午後9時から)はクラブメンバー間の自由な交信、ラグチューの時間とし、従来設けていたキー局や交信ルールなどは設けない。
- II. ロールコールの実施日時と周波数(毎月2回、第1、第3日曜日の午前10時に開始)
担当キー局: 第1日曜日 輪番制(詳細はV項による)、第3日曜日 JE1ENI 田中義男氏
使用周波数: 通常 433.46MHz とし、既占有局がある場合は 145.46MHz、ただし、この周波数を使う JARL、同神奈川県支部主催のコンテスト中は 431.46MHz または 145.70MHz。
なお、状況意によってキー局の判断で上下 20kHz に変更することもある。
- III. ロールコールの交信手順 (チャンネルコントロール方式)
- (キー局によるチェックイン局募集)
- ・ チェックイン局の募集を行う
 - ・ ピックアップした局名をアナウンスし、次のチェックインを募集
 - ・ これを繰り返す
- (チェックイン局の RS レポート・インフォメーション有無報告)
- ・ 新たなチェックインが無くなった時点で、キー局は本日のチェックイン局リストを紹介
 - ・ キー局はリストの順に**チェックイン局**を呼び出す
 - ・ 各チェックイン局は、キー局への RS レポートとインフォメーションの有無を伝達
 - ・ キー局は、チェックイン局への RS レポートをその都度伝達し、リストの次の局を呼び出す
- (インフォメーションの伝達)
- ・ キー局はリストの全局を呼び出した後にインフォメーション**有りの局**を順次呼び出す
 - ・ チェックイン局は、インフォメーションを伝達
- (レイト・チェックインの募集)
- ・ キー局はインフォメーション有り局が全て終わった時点で、**レイト・チェックインを募集**。
チェックイン局があれば上記手順を繰り返す。
- (ロールコールの終了)
- ・ 以上が終了したら、キー局は**ロールコール終了する旨**を伝達し、リスト順にチェックイン局を呼び出す
 - ・ 各チェックイン局は、それぞれ**終了の了解**を伝達する

戸塚区支部

- ・ 全チェックイン局の終了了解の伝達が終わった時点で、キー局がロールコールの終了を宣言する

IV. キー局の分担

1. JE1ENI局は毎月第3日曜日を担当
2. キー局経験者を増やすため、毎月第1日曜日は、クラブ役員会メンバーの輪番制とする。
3. キー局が不測の事態により、ロールコールを開始できないときは、当日ロールコールに参加しようと待機している局の中から、有志局が代行する。

V. 第1日曜日キー局の輪番制

1. 原則として会長、副会長、理事が輪番で担当する。順番は名簿の順番とする。
2. 個別の事情（例えば、時間的な制約、無線設備の限界）により、キー局を担当が困難な場合は、予め役員会の決定により担当を免除する。

VI. 参加の奨励

1. キー局はロールコール終了後、参加した局のコールサインのリストを、TARC メーリングリストにて、クラブ員に配信する。
2. さらに、次回のロールコールの日時と担当のキー局を付記する。
3. 新たに設けるロールコール取り纏め役は、年間を通した参加者の記録をまとめ、次回の総会で発表する。
4. 参加回数の成績優秀者には、総会にて表彰し、副賞を贈呈する。

以上

改訂記録

1. 2018/12/24 新規作成 2019年1月より実施
2. 2019/09/27 改訂 キー局の輪番制、実施結果のクラブ員への配信 等の追加
2019年10月より実施
3. 2020/06/20 改訂 タイトル名の変更